

# 例えば、若手人材をどのように育成し、能力を発揮させていくか

## 若手研究者が備えておくべき 素養・能力への指摘

若手研究者の能力に対する評価  
(1355名の研究者アンケート結果)

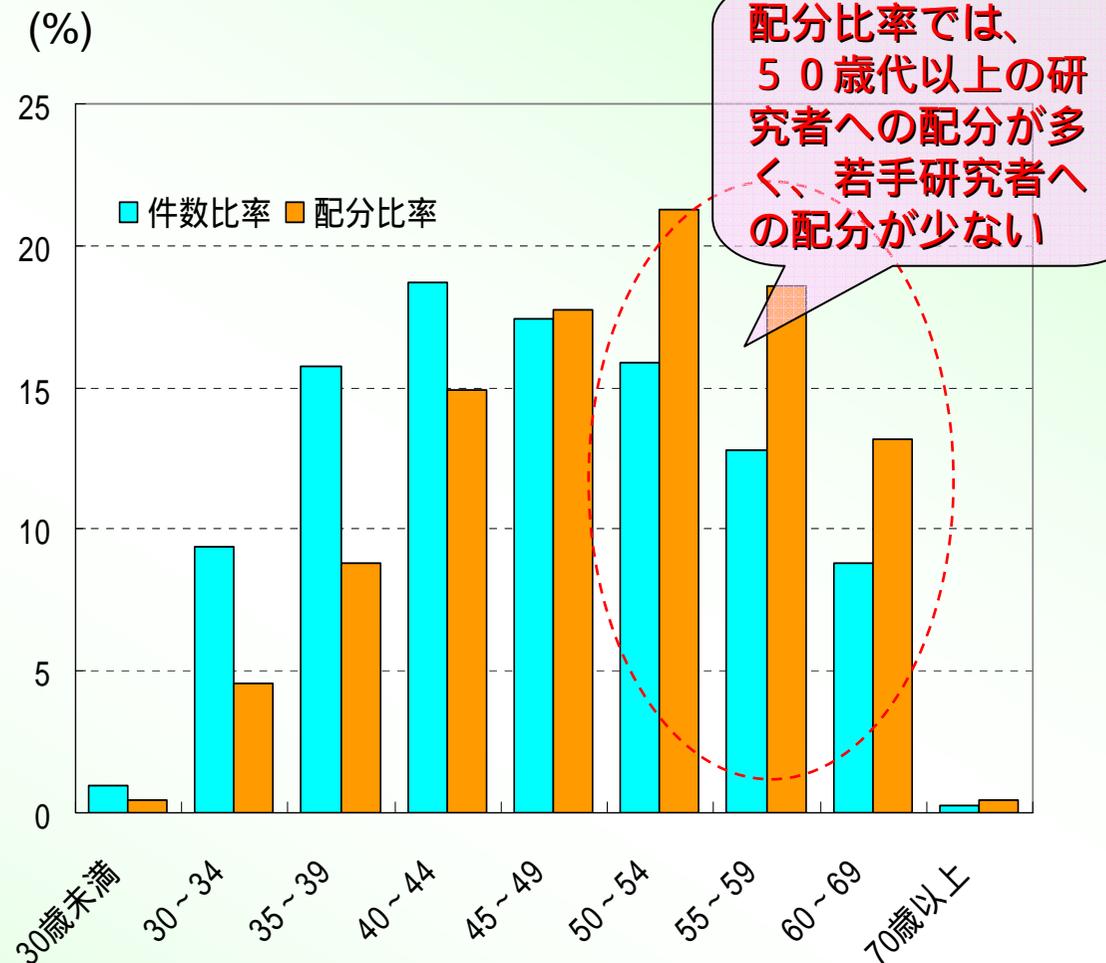
**充足している** ・ 専門分野の知識

**過不足無し** ・ 探求心  
・ 課題解決力

**不足している** ・ 課題設定能力  
・ 創造性

(出典: 科学技術政策研究所「科学技術指標(2004年度版)」)

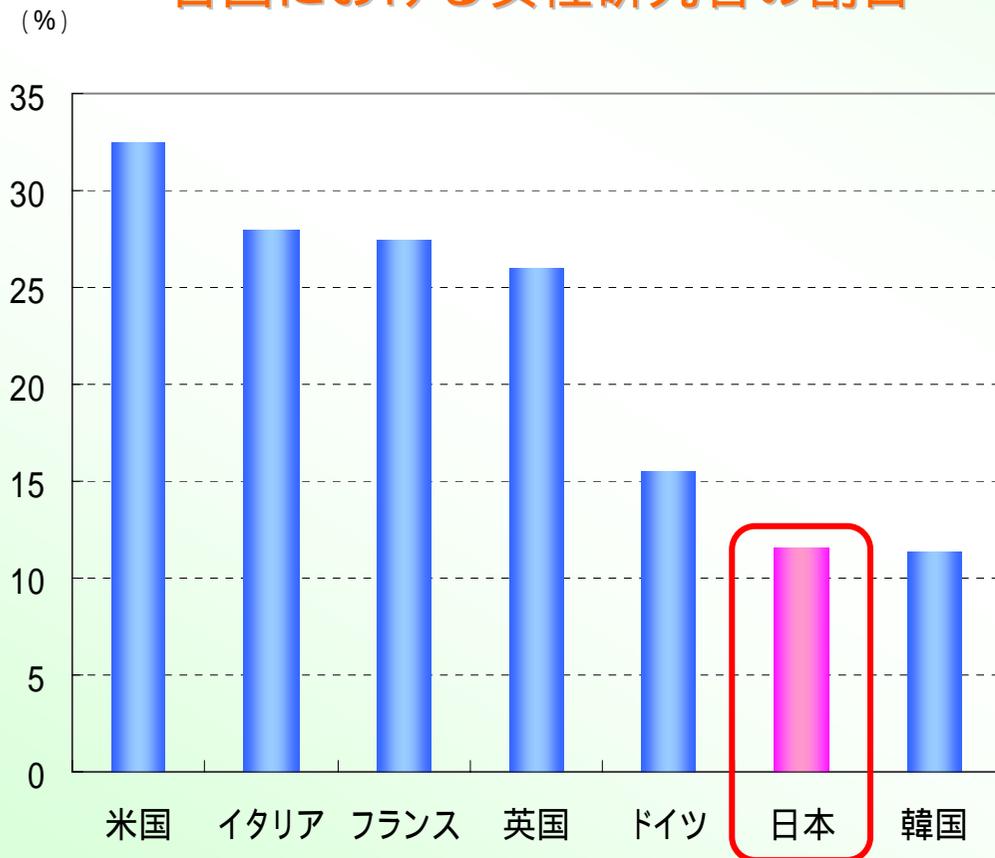
## 競争的研究資金の 研究代表者年代別配分状況(2002年)



(出典: 内閣府「競争的研究資金の制度改革(2003年)」)

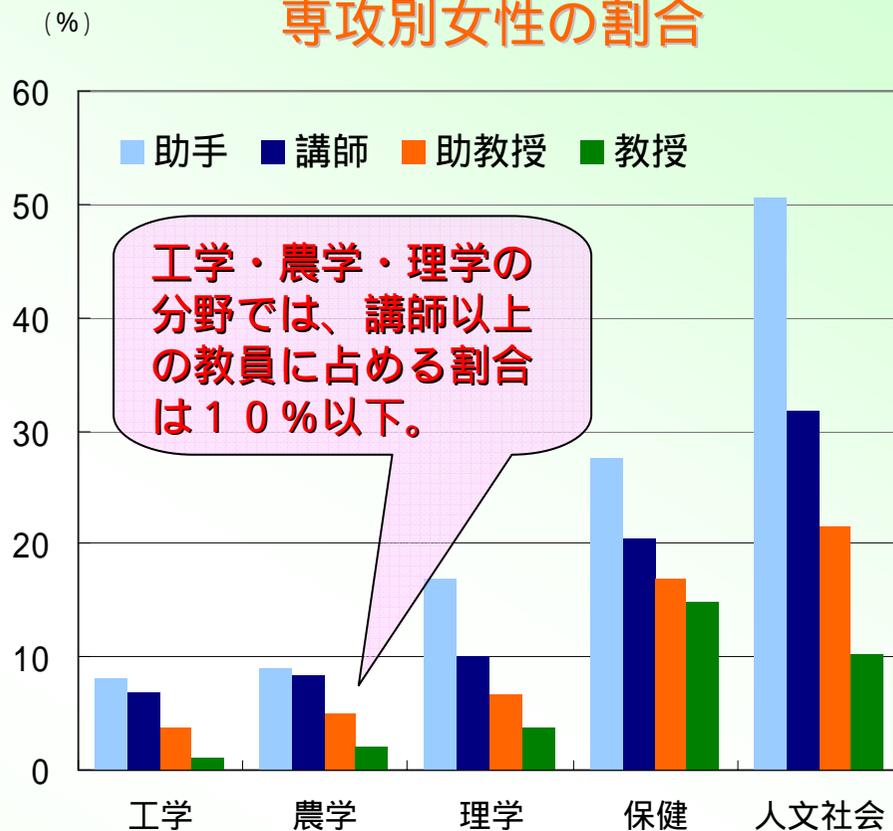
例えば、我が国の女性研究者の割合が国際的にみて際だって低い状況を、どのように是正していくべきか

### 各国における女性研究者の割合



日本、韓国は2003年、イタリア、フランス、英国、ドイツは2000年、米国は1999年。  
 米国の数値は、「Science & Engineering Indicator 2004」においてScientistとして分類されたもの  
 (総務省統計、NSF統計、OECD統計、EC統計から内閣府作成)

### 我が国の大学教員における専攻別女性の割合



(出典: 文部科学省、学校基本調査(2004年))

# 第3期科学技術基本計画は何を目指すのか

長期的視点に立ち、日本の未来を創るための、5ヵ年計画

## 総合科学技術会議の機能の充実・強化

各省の縦割弊害の排除、政府投資の一層効果的な活用、国民への説明責任の強化、戦略的国際活動等のため、司令塔としての機能の充実・強化が必要

## 第3期計画の政府研究投資目標の検討

政府研究開発投資額の目標及び科学技術成果に関する目標については、第1期・第2期計画における実績、諸外国の動向、第3期計画における施策内容等を踏まえ検討